

人権啓発センターだより



発行 別府市人権啓発センター
 〒874-0919 別府市石垣東10-7-5
 TEL 0977-23-6163
 FAX 0977-23-6226
 MAIL beppu-jinken@tuba.ocn.ne.jp

立春とはいっても、まだまだ寒い日が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
 毎年、寒いこの時期になると流行するのが「インフルエンザ」です。

感染しないためにも、日ごろから体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。ウイルスは湿度に非常に弱いので、室内を加湿器など使って適度な湿度に保つことも有効な予防法です。また他の予防方法としては、「栄養と休養を十分摂る・人ごみは極力避ける・適度な温度、湿度を保つ・外出後の手洗いとうがいの励行・マスク着用・ワクチン接種」などがあります。感染しないよう皆さん気をつけましょう！！

1月・2月の主な活動の様子



第7回人権サークルふれあい

1月10(金)の第7回は、キムチチゲ・春菊ともやしのナムル・ぜんざいの3品を作りました。調理後は、「めぐみ～北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ～」の啓発DVDを鑑賞し、意見交換を行いました。



第4回人権ミニ講座

1月23日(木)のミニ講座は、当センター所長の内田 剛が講師を行い、「同和問題」についての講座を開催しました。部落差別の経過や現状の差別事象などを説明し、参加者から多くの意見や感想を聞くことができました。

「春木っ子学習室」

毎年恒例となっている「お菓子作り」では、今回は「ワッフル」を作りました。子どもたちの楽しそうな声や笑顔で、センター内も大変にぎやかになりました。出来上がった「オリジナルワッフル」を、友だちと一緒にうれしそうに食べる姿がとても良かったです。





部落解放共闘別府速見杵築地区会議 「第19回定期総会」

部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて各団体で構成されている部落解放共闘別府速見杵築地区会議の「第19回定期総会」が盛大に開催されました。

【人権ミニライブラリー】～新たな貸し出しDVDの紹介～

(DVD) ※他にもビデオ・図書 等もありますので、お気軽にお問い合わせください。

NO	タイトル	分野	時間
175	なぜ、介護者が虐待を・・・	高齢者の人権問題	27分
176	事例で考えるパワハラ解決法①～パワハラと熱血指導～	さまざまな人権問題	23分
177	事例で考えるパワハラ解決法②～パワハラ解決技法～	さまざまな人権問題	25分
178	部落解放運動の歩み	同和問題	60分

「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる 条例」 (通称：『ともに生きる条例』) が、

人々の障がいに対する理解の不足や社会にある様々な障壁により、障がいのある人に対する差別や偏見は依然としてなくなる状況であるとともに、障がいのある人は生活のしづらさや不安を抱えています。そこで、障がいのある人を取り巻くこれらの状況の改善に市全体で取り組み、障がいの有無にかかわらず、お互いに認め合い、思いやり、支え合う社会をつくるために、この条例は制定されました。

この条例は、障がいを理解し、障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も安心して安全に暮らすことのできる共生社会を実現しようとするものです。

市行政、市民、事業者が一丸となって、この条例がめざす「障がいの有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う社会」(共生社会)をつくっていきましょう。

＊「障害」、「障がい」の表記について

別府市では、条例や規則などの例規で用いる場合や一般的な固有名詞として用いられている場合などにおいては「障害」と表し、それ以外の場合においては「障がい」と表すなど、「障害」と「障がい」を使い分けています。

